小太郎漢方製薬と医療機関等の関係の透明性に関する指針

小太郎漢方製薬株式会社（以下、当社）は、日常取るべき企業活動が倫理的かつ適法で誠実に行なわれていることを皆様に広くご理解いただくために、当社と医療機関等との関係について透明性を確保する必要があると考えています。
つきましては、以下のとおり医療機関等との関係の透明性に関する指針を定めました。

１．目的

当社の企業活動における医療機関等との関係の透明性を確保することにより、医学、薬学をはじめとするライフサイエンスの発展に寄与していること、また、企業活動が高い倫理性を担保したうえで行われること、などについて広く理解を得ることを目的とします。

２．公開方法および時期

当社ウェブサイトを通じ、毎事業年度における下記公開対象の資金の提供について決算確定後に公開します。ただし、3. 公開対象の「C.原稿執筆料等」についての個別件数、金額については、準備が整い次第の公開とさせていただきます。

以降、各年度の実績を当該年度の決算終了後の適切な時期に公開いたします。

３．公開対象

Ａ．研究開発費等

研究費開発費等には、GCP 省令などの公的規制のもとで実施されている臨床試験や、医薬品開発の治験および製造販売後臨床試験が含まれ、また、GPSP 省令、GVP 省令などの公的規制のもと実施される副作用・感染症症例報告、製造販売後調査等の費用が含まれる。

提供した資金等は、各項目の年間の件数・総額を以下のとおり公開する。

① 共同研究費	年間の件数・総額、提供先施設等の名称
② 委託研究費	年間の件数・総額、提供先施設等の名称
③ 臨床試験費	年間の件数・総額、提供先施設等の名称
④ 製造販売後臨床試験費	年間の件数・総額、提供先施設等の名称
⑤ 副作用・感染症症例報告費	年間の件数・総額、提供先施設等の名称
⑥ 製造販売後調査費	年間の件数・総額、提供先施設等の名称

Ｂ．学術研究助成費

学術研究の振興や研究助成を目的として行われる奨学寄附金、一般寄付金、及び学会等の会合開催費用の支援としての学会寄付金、学会共催費。

提供した資金等は、各項目の年間の件数・総額とともに以下のとおり公開する。

① 奨学寄附金　　〇〇大学〇〇教室：〇〇件、〇〇円
② 一般寄附金　　〇〇大学（〇〇財団）：〇〇件、〇〇円
③ 学会寄附金　　第〇回〇〇学会（〇〇地方会・〇〇研究会）：〇〇円
④ 学会共催費　　第〇回〇〇学会〇〇セミナー：〇〇円

Ｃ．原稿執筆料等

医学・薬学に関する情報等を提供するための講演や原稿執筆、コンサルティング業務の依頼に対する費用等。

提供した資金等は、各項目の年間の件数・総額を以下のとおり公開する。

① 講師謝金　　年間の件数・総額
② 原稿執筆料・監修料　　年間の件数・総額
③ コンサルティング等業務委託費　年間の件数・総額

Ｄ．情報提供関連費

医療担当者に対する医学・薬学に関する情報提供に必要な講演会、説明会等の費用。

① 講演会費　　年間の件数・総額
② 説明会費　　年間の件数・総額
③ 医学・薬学関連文献等提供費　　年間の総額

Ｅ．その他の費用

社会的儀礼としての接遇等の費用。

① 接遇等費用　　年間の総額

以上